

水道だより

2022.12 vol.01

回覧



沼津市水道総務課 沼津市御幸町16-1 ☎055-934-4862

まちを潤す、 泉水源地。

東洋一の湧水量を誇る柿田川のすぐ隣に位置する「泉水源地」は、湧水池及び7本の深井戸があり、総湧水量は1日13万トンに及びます。

泉水源地を管理する送水管理センターの給水範囲は、清水町全域と沼津市の西は東椎路、南は内浦三津付近と広範囲にわたり、全体給水量の約6割、概ね15万人に給水しています。

皆様にお届けしている水は、世界遺産富士山の恵みである豊富な地下水を自然水に近い状態で供給していることから、美味しいことに加え、全国トップクラスの安価な料金となっています。

令和3年度 沼津市水道事業会計決算

水道事業の経営に要する費用は、主に利用者である沼津市と清水町の皆さまからいただく水道料金で賄っています。

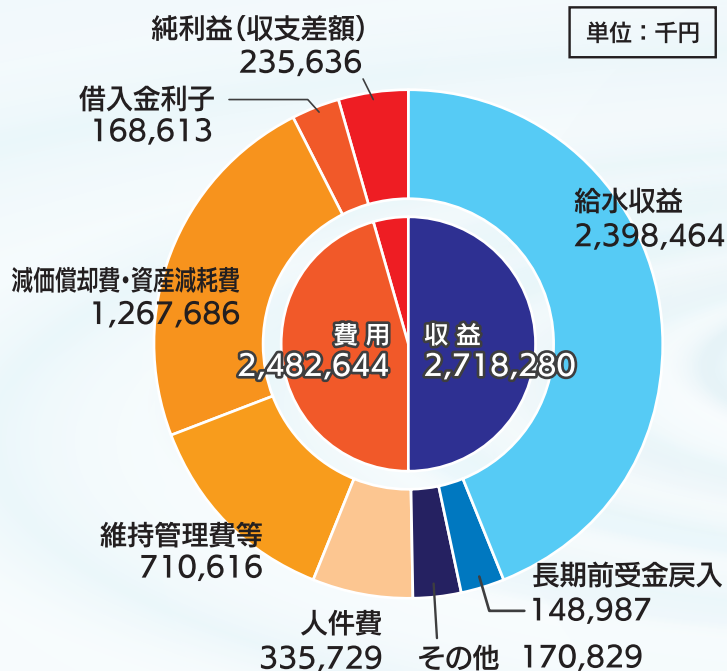
令和3年度は、経費削減等に努め、約2億3,600万円の純利益を計上することができました。

しかし、人口減少や節水機器の普及、節水意識の高まりなどから経営の根幹である水道料金の収入は年々減少しており、今後も続くことが見込まれています。

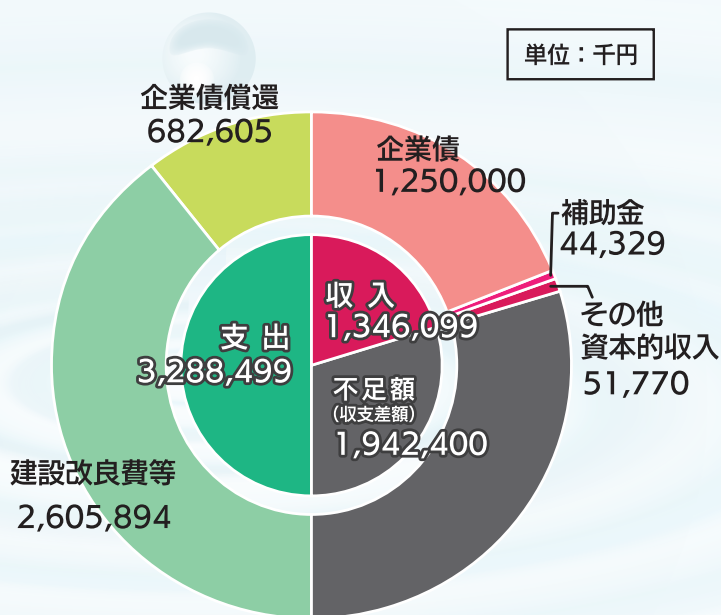
安全・安心で良質な水の安定供給と災害時における安定給水のため、今後も老朽化した配水管等の更新や水道施設の耐震化を計画的に進めるとともに、引き続き経費の削減等、業務の効率化に取り組み、経営基盤の強化に努めます。

また、水道料金については、5年以内ごとに沼津市水道事業及び下水道事業経営審議会において審議することとなっており(前回:令和元年度)、今後、適正な料金のあり方について検討していきます。

収益的収支 (税抜) 事業の経営活動に要するもの



資本的収支 (税込) 施設の整備に要するもの



※不足額は、内部留保資金で補てんしました

令和3年度の主な工事

毎年、配水管や設備等の更新・耐震化事業を実施しています。令和3年度は下記のとおり実施しました。

- <更新事業> 1,931,225千円
 - ・配水管布設替 10.3Km
 - ・老朽化や不具合による設備の更新整備等
- <耐震化事業> 575,991千円
 - ・配水管布設替 2.9Km 耐震化率 39.9%
 - ・配水池 3,350 m³ 耐震化率 83.5%



数字で見る水道事業の状況 (令和3年度末)

給水人口	220,914人
給水戸数	105,988戸
普及率	99.7%
年間配水量	31,746,579m ³
有収水量(※1)	27,828,992m ³
料金回収率(※2)	103.2%

(※1)有収水量…料金収入の対象となった水量

(※2)料金回収率…給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えたかを示した指標